

## アンデルセンと

## 人魚ひめ

「人魚ひめ」という どうわを しまって いますか。アンデルセンと いう さっかが かい た おはなしです。アンデルセンは、二百年ほど まえに、デンマークで 生まれました。アンデルセンは、「みにくい アヒルの 子」や 「おやゆびひめ」、「マツチウリの 少女」なども かきました。

「人魚ひめ」は、こんな おはなしです。うみに すんで いた 人魚ひめは、ある 日、ふねから おちて うみで おぼれた 人間の 王子さまを たすけます。王子さま



① 「人魚ひめ」を かい たの は、だれですか。

② 人魚ひめは、なにと ひきかえに、人間の すがたに なりましたか。( ) に あう ことばを かきましょう。  
・ じぶんの

こえ。

読んだ日

月

日

まを すきに なった 人魚ひめは、じぶんの  
うつくしい こえと ひきかえに、人間の すが  
たに なって、王子さまの そばに いく こと  
が できました。でも、人魚ひめは こえを 出  
す ことが できないので、

じぶんの 気もちを つたえ  
られません。王子さまは、べ  
つの 人と けっこんして  
しまい、人魚ひめは うみの  
あわと なって きえて し  
まいました。

そんな 人魚ひめの どうぞうが、デンマーク  
の コペンハーゲンに あります。



③ 人魚ひめは、なにになっ  
て きえましたか。( )に  
あう ことばを かきましょ  
う。

・うみの

④ 人魚ひめの どうぞうは、  
デンマークの どこに あり  
ますか。

## いなかのねずみと

町の

ねずみ

イソップ

読んだ日

月

日

あるとき、町のねずみがいなかのねずみのところへあそびにいくと、いなかのねずみがじまんしました。

「はたけには、むぎがいっぱいおちていて、おなかいっぱいたべられるよ。」

町のねずみは、かおをしかめました。

「むぎがごちそうだなんて。ぼくのいえにすれば、もっとおいしいものをたべさせてあげるよ。」

こんどは、いなかのねずみが、町のねずみのいえをたずねました。

テーブルの上には、いなかのねずみが見たこともないごちそうがいっぱい。

① 町のねずみがかおを

しかめたのは、なぜですか。  
一つに ○をつけましょう。

ア 早くむぎをたべたから。  
たから。

イ むぎなんて、ごちそうではないとおもったから。

ウ むぎが、大きらいだったから。

② 町のねずみが耳を

くりとさせたのは、どうしてですか。( )にあうことをかきましよう。

二ひきが ごちそうを たべようと したと  
きの ことです。

とつぜん、町の ね

ずみが、耳を ぴくり

と させました。

「早く、かくれる。こ

の いえの しゅん

の 足音だ。」

町の ねずみが か

べの あなの 中に とびこむのを 見て、いな

かの ねずみも、あわてて あなに 入りました。

「ぼくは、かえる。どんなに ごちそうが あつて

も、びくびくして くらすのは ごめんだよ。」

いなかの ねずみは、いそいで かえって い

きました。



いえの

の



が きこ

えて きたから。

③

二ひきの ねずみは、どこ  
に かくれましたか。



④

いなかの ねずみが すみ  
たいと おもって いる ほ  
うに、○を つけましょう。

ア 町

イ いなか